

会議の概要

日 時： 平成15年3月8日（土）14時20分から15時50分
場 所： 豊岡市立図書館 視聴覚・講演室（豊岡市）

1. 開 会

庶務担当の(株)東京建設コンサルタントが議事進行を行った。

2. 委員長挨拶

円山川流域委員会委員長 藤田 裕一郎（岐阜大学 流域圏科学研究センター教授）が挨拶を行った。

3. 議事内容

- 3.1 委員長の職務を代理する委員の指名
- 3.2 円山川流域委員会の情報公開
- 3.3 円山川流域委員会の今後の進め方
- 3.4 委員候補の辞退について(報告)
- 3.5 円山川流域の概要
- 3.6 山口委員からの情報提供
- 3.7 その他

4. 審議内容および決定事項

4.1 委員長の職務を代理する委員の指名

- ・規約第4条3項に基づき、委員長に事故があった場合の職務を代理して頂く委員の指名を委員長が行った。

委員長代理 川合 茂委員（舞鶴工業高等専門学校）

4.2 円山川流域委員会の情報公開

- ・庶務から情報公開の方針、委員会の情報公開、委員会資料・審議結果の情報公開について委員に説明された。
- ・庶務から以下の提案事項が挙げられ、委員に了承された。

ホームページは円山川流域委員会独自のものを使用する。
流域内市町関連ホームページとの相互のリンクについては積極的に依頼する。
流域市町への広報誌掲載依頼は行わない。
議事録は、概要版・詳録版を公表する。
概要版の公表手段として記者発表は行わない。
委員会への関係住民からの意見の受付は、豊岡工事事務所へのFAX，メール等の他に、庶務のメール等を付加する。

4.3 円山川流域委員会の今後の進め方（イメージ）

- ・円山川流域委員会の今後の進め方について庶務から説明が行われた。
- ・河川管理者より補足として、「現在、近畿地方整備局管内では、円山川を除く5水系が河川整備基本方針策定より前に河川整備計画の策定に向け流域委員会を設置している。ある程度、住民等の意見を公聴した段階で河川整備基本方針を定めたい。」との意向が説明された。

4.4 委員候補の辞退について(報告)

- ・元準備会議委員の神戸新聞社但馬総局長 則本 修美氏より委員就任前に、転勤を理由に委員就任辞退を申し入れられたことが庶務から報告された。
- ・審議の結果、次のことが了承された。

規約第3条3項に基づき、則本委員より推薦された新任の但馬総局長を委員会委員へ追加するよう整備局長に要請する。

4.5 円山川流域の概要

- ・河川管理者より円山川流域の概要について説明が行われた。

4.6 山口委員からの情報提供

- ・山口 久喜委員(豊岡市文化財審議委員)より豊岡市指定文化財の「円山川改修計画測量図」についての説明が行われた。

4.7 その他

第1回流域委員会における主な発言は以下のとおりである。

- ・一般の意見に関する取り扱いについて、委員長判断に任せたらよい。(池田委員)
- ・現地見学会を6月出水期前に実施予定であり、日程調整に関しご協力願う。(庶務)
- ・河川整備基本方針、河川整備計画の検討期間はどのくらいと考えているか。(梶本委員)
- ・上流域に2基分のダム計画があると聞いているが、この計画は県レベルなのか？それとも国土交通省河川局まで含めたレベルなのか。(前田委員)

(傍聴者)

- ・円山川流域委員会は国土交通省の下部組織なのか。
- ・円山川流域委員会という名前なら、流域全部を考えてもらいたい。

(傍聴者)

- ・円山川の堤防高を暫定高まででなく計画高まで築堤して欲しい。
- ・北近畿タンゴ鉄道陸橋の改築について検討をお願いしたい。